

令和4年6月29日

臨床研究に関する公開情報

横須賀共済病院では、より良い診断・治療を目標として様々な臨床研究を行なっております。今回下記の臨床研究を実施いたしますので、研究の計画・方法についてお知りになりたい場合、患者さまご自身のカルテ情報や検体・試料を研究に利用されることをご了承できない場合などがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、研究にご了承できないことをお申し出なされた場合でも、患者さまの診療に不利益が生じることは一切ございません。

[研究課題名] 虚血性心疾患の診断で使用する心筋マーカーと血小板検査
の関連性について

[研究責任者] 津浦 幸夫 中央検査科・病理診断科 部長

[研究の概要] 当院検査室で使用している血液分析装置の血小板測定は、光学的方法を採用しており、レーザー散乱光で血小板の容積と同時に細胞内成分濃度を解析しています。血小板内成分濃度の解析は、血小板に含まれる濃染顆粒や α 顆粒などメインに反映する事が期待できます。検体検査における血小板凝集には、血小板が活性化して凝集を促す場合と、体外（試験管内）での凝集となる場合があります。代表的には抗凝固剤 EDTA に依存する体外での生理的変化や、採血治験に伴う物理的な凝集があります。前者は生体内で活性化した血小板が血栓イベントを引き起こす可能性となりますが、そのイベントは血小板内成分の細胞外放出として血小板内顆粒を消費として成分濃度は把握が予測可能因子となります。一方後者は血栓を伴わない EDTA に依存した凝集のみなので、血小板内顆粒の消費は生じません。以上から、動脈内血栓形成のメカニズムで血小板凝集のイベント予測は、虚血性心疾患の血栓形成の兆候を把握できるのではないかと考えました。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2021年01月01日から2021年12月31日の間に血液検査（項目；血小板、トロポニンT、CK、CK-MB）、心電図検査を受けた方

●研究に用いるカルテ情報、試料・検体

カルテ情報：

診断名、年齢、性別、検査結果（血液検査、心電図波形 等）

試料・検体：

血液

[研究の期間] 横須賀共済病院 臨床研究倫理委員会 審査承認後から

2023年05月31日まで

[研究の発表]

● 日本血液学会学術集会 等 にて発表予定

[問い合わせ先]

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報・試料が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

〒238-8558 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16

国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院

電話 046-822-2710（代表）（平日 午前8時30分から午後17時15分まで）

FAX 046-822-9139

連絡先対応者 中央検査科 技師長 難波 真砂美

*お問い合わせ内容によっては、こちらから改めてご連絡をさせて頂くことがあります。
あらかじめご了承ください。

以上